



KKR東海病院

# とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院  
〒464-8512  
名古屋市千種区千代田橋1-1-1  
TEL 052-711-6131(代) FAX 052-712-0052  
http://www.toukaihosp.jp/

第64号 2019.4  
編集責任者 丸田真也(副院長)

## 東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

## 私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity  
奉仕…Service  
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切に、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

## 平成から令和へ

副院長 丸田 真也 …………… 1

## 退任のご挨拶

前看護部長 松田 日登美 …………… 2

## 事務部長就任挨拶

事務部長 飯塚 哲哉 …………… 2

## 第13回市民公開講座より

高気圧酸素治療について

臨床工学科 加藤 圭祐 …………… 3

## 病診連携症例検討会より

病診連携システム勉強会 開催報告

副院長 地域連携室長 丸田 真也… 3

## 東海病院病診

連携勉強会開催のお知らせ …………… 4

## 2019年度

ゴールデンウィークの診療について … 4

診療と交通のご案内 …………… 4



東海病院  
副院長 丸田 真也

新元号が令和になることが発表されました。皆さんは改元による書類やシステムの和暦表示の変更や、皇位継承に伴う10連休への対応に追われていることと思います。当院では10連休は診療に支障をきたすと判断し、4月30日と5月2日は通常通りの診療を行うことにいたしました。

平成の終わりにあたり、今回は東海病院の平成を振り返ってみます。当院は開設当初は結核病院でしたが、治療法や予防の進歩により患者数は激減してしまいました。昭和の最後に結核病棟を全廃し早川直和前院長が就任し、180床の一般病院として平成を迎え、急性期病院として外科、内科、整形外科を中心に発展していきました。平成3年には腹腔鏡下胆嚢摘出術を東海地区で初めて導入し、外科手術数は飛躍的に増加しました。平成7年に東海健康管理センターを開設し、人間ドックを本格的に開始しました。平成12年には介護老人保健施設「ちよだ」100床を開設しました。これにより保健・医療・介護のサービスを総合的に提供できる複合体が出来上がりました。平成19年に診療棟2階に内視鏡センターを開設し、内視鏡件数が飛躍的に増加しここ数年は8000件を超えています。早期胃癌の内視鏡的切除などの内視鏡治療も積極的に行っています。

平成の中盤まではこのように順調に規模を拡大してまいりましたが、後半はかなり厳しい経営状況でした。病棟の老朽化、老健施設などの拡充、鏡視下手術の増加による在院日数の低下などにより入院患者数が減少しました。さらに、オーダーリングシステムや電子カルテの導入により便利になった半面、経費がかさみ経営が逼迫してしまいました。急性期患者のみで病床を埋めることができず、平成27年から10床を地域包括ケア病床とし、平成29年からは3つの病棟のうち1病棟を地域包括ケア病棟にいたしました。当院の一般病棟や基幹病院で急性期の治療が終了した患者さんを受け入れ、治す病院から治し支える病院へと変わってきました。

さて、令和には当院はどのように変わって行くのでしょうか。地域医療構想のもと、より地域に根差した病院になっていくことは間違いのないでしょう。

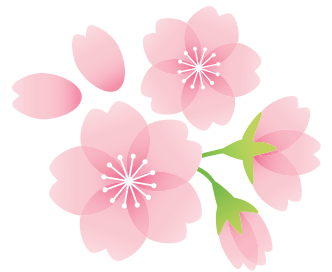
KKR とは?

国家公務員共済組合連合会の  
頭文字をとった略称です。



## 『退任のご挨拶』

東海病院 前看護部長 松田 日登美



平素は東海病院の診療・看護にご高配賜り、御礼申し上げます。

私はこの度平成31年3月末日をもって、定年退職となり、後任に職責を譲ることとなりました。成田澄江前看護部長の後を受け、平成22年4月から未熟な私が少しずつ看護部長としての経験を重ねてまいりました。これも当院職員をもちろんのこと、連携医の先生方から様々なご意見を賜ったことで現状をふりかえり、職員と検討し、変革できたおかげと感謝しております。

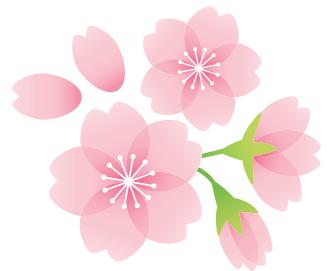
この10年間で、病診連携の促進はもちろんのこと、病院同士、病院と地域施設との連携が進んでまいりました。慢性期・回復期にある患者様方は、病院や特別養護老人ホーム、老健施設だけでなく、受け入れ対象を拡大してきた各種老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等により選択余地が増えてまいりました。その中で当院が選ばれるように、地域包括ケア病棟への開設に至る過程を経てまいりました。専門医制度や総合医制度があるように、看護師では認定看護師から特定行為研修看護師等、医師負担軽減と併せ看護部門での専門性を追求することも強調されています。東海病院でも、既に摂食・嚥下障害看護認定看護師が病院・老健において活動しています。さらに今後は認知症やがん性疼痛の領域で順次活動する予定です。加えて、地域包括ケア病棟の看護補助者も増員し、よりよい療養生活を過ごして頂けるようにまいります。

この1月から再び入院基本料10対1の看護体制をとりながら、各部署の人員配置や異動、新入職員の定着に努め、よりよい診療体制看護体制を作るように、職員一丸となって業務に励んでまいります。後任者につきましても、皆様からご支援を賜りますようお願いいたします。



## 『事務部長就任挨拶』

東海病院 事務部長 飯塚 哲哉



平素より、当院の運営にあたり格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、平成31年4月1日付けで東海病院の事務部長を拜命いたしました飯塚哲哉（いづか てつや）と申します。自己紹介を兼ねて就任のご挨拶を申し上げます。

私は、東京湾の入り口の神奈川県は横須賀市で育ち、大学卒業後に国家公務員共済組合連合会の横須賀共済病院に就職して以来、共済組合本部や横浜南共済病院等、病院と本部を行き来しながら、約30年あまり勤務してまいりました。

この度、愛知県は名古屋の地で、長年、地域の皆様に支えていただいている東海病院の事務部長を任命され、大役ではありますが、全力を尽くす所存です。

さて、少子高齢化が進み、昨今の医療を取り巻く環境は激変しております。

特に、各都道府県により「地域医療構想」の実現に向けた取組が進められている中において、病院は、地域でどのような役割を担うのか、また、地域の医療機関との連携、役割分担を見据えた上で、病院が目指す医療の方向性を踏まえ、どのように具体的な方策を進めていくのかということが非常に重要となっております。

当院は、「病院」という役割に加え、「健康管理センター」、「介護老人保健施設ちよだ」を併設しております。これから更に超高齢化が進む中において、「東海病院」が担う“医療”から「介護老人保健施設ちよだ」が担う“介護”まで、それぞれがしっかりと連携し、必要な医療・福祉サービスを提供することにより、地域の皆様に貢献していく必要があると考えております。

「平成」から「令和」へ移り変わる時代の中、これまでも増して当院が地域医療のために地域の医療機関等との連携を深め、地域の皆様のお役に立てる病院として共に歩んでいけるよう、私自身、東海病院の一員として東海病院憲章に定める「地域の人々の健康と福祉に資する」ことを胸に、職員の心構えである3つのS（誠意：Sincerity、奉仕：Service、考動：Science）を大切に日々精進して参りたいと存じます。

地域の先生方、地域の皆様におかれましては、ご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第13回市民公開講座より

# 高気圧酸素治療について

東海病院 臨床工学科 加藤 圭祐

大気圧よりも高い気圧環境のなかに患者様を収容し、高濃度の酸素を吸入させることによって、各種病態の改善を図る治療を高気圧酸素治療といいます。

適応疾患は、腸閉塞、突発性難聴、放射性晩期障害など多岐にわたりますが、外傷や皮膚移植後の急性血行障害、蜂窩織炎、骨髄炎、骨壊死、脊髄神経疾患、血流障害による組織壊死、スポーツ外傷など、整形外科疾患も治療効果が期待できます。

この背景のなか、当施設では年間500～800件の治療実績があり、患者様には安心して高気圧酸素治療を受診していただけるよう、28年のキャリアと専門医・専門技師がサポートしています。

なお、当施設は日本高気圧環境・潜水医学会の安全管理基準の下に適切な管理と治療に専念しています。高気圧安全協会所属の施設会員で、高気圧酸素治療の専門医ならびに専門技師が共に在籍し、日本高気圧環境・潜水医学会より認定施設に選定されています。現在、この認定施設は、東海・北陸地方で4施設のみです。さらには、当施設臨床工学科の渡邊雅俊技士が日本高気圧環境潜水医学会高気圧酸素治療技術部会の幹事に委嘱され、わが国の高気圧酸素治療の発展に寄与しています。これだけ高度な水準の高気圧酸素治療を行っているのは愛知県でも随一です。



## 病診連携症例検討会より

# 病診連携システム勉強会 開催報告

副院長 地域連携室長 丸田 真也

去る2月16日(土)の午後、ホテルルブラ王山にて病診連携運営協議会と、名城病院と共催の病診連携勉強会を開催しました。勉強会の最初の講演は当院整形外科の牧野仁美診療部長からの「高気圧酸素治療を施行した脊髄麻痺の3例」でした。次に名城病院循環器内科の原田信吾先生から「下肢閉塞性動脈硬化症に対する当院の取り組みについて」の講演がありました。今回は特別講演として名古屋大学大学院医学系研究科外科周術期管理学講座教授の横山幸浩先生をお招きし「手術前には筋肉と腸を鍛えましょう！～プレリハビリテーションとシンバイオティクスの重要性について～」をご講演いただきました。講演では手術前の運動療法と栄養療法の導入により術後合併症が減少すること、とくに乳酸菌飲料により腸内環境が改善することを解りやすく教えて頂きました。

当日は、38名の病診連携登録医の先生方にご参加頂き、東海病院職員33名、名城病院職員26名、合計97名と会場はほぼ満席の大盛況となりました。勉強会の後に懇親会を行い、多くの登録医の先生方と歓談することができました。



# 東海病院病診連携勉強会開催のお知らせ

日 時：2019年6月29日（土）15時00分～16時00分

場 所：東海病院 健康管理センター3階 カンファレンスルーム  
（名古屋市千種区千代田橋1-1-1）

症例発表：東海病院医師から2題の発表を予定しております。

単 位：日本医師会生涯教育認定講演会（参加証明書をお渡しします）

取得単位：1単位を予定しております。

申込方法：後日、詳細内容と出欠票を郵送いたします。FAXにてお申込みください。

担 当：地域連携室

# 2019年度ゴールデンウィークの診療について

4月27日(土) から5月6日(月) の10連休につきまして、4月30日(火) 及び5月2日(木) は通常通り外来診療を行います。但し、泌尿器科及び皮膚科は休診となります。ご了承ください。

4月27日(土) ～4月29日(月) 休診

4月30日(火) 通常通り

5月1日(水) 休診

5月2日(木) 通常通り

5月3日(金) ～5月6日(月) 休診

5月7日(火) 以降 通常通り

## 診療と交通のご案内

### 診療科

#### 内 科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
循環器	月～土	
呼吸器	月・水	
肝 臓	月	
糖尿病	金	
禁煙外来	水・木	
		完全予約制

#### 外 科

消化器	月～土	} 受付 8時30分～11時30分
ヘルニア外来	第1・3・5土	
血管	金	受付 8時30分～11時00分
整形外科	月～土	受付 8時30分～11時00分
リウマチ科	月～土	受付 8時30分～11時00分
泌尿器科	月～土	受付 8時30分～11時30分
眼 科	月～金	受付 8時30分～11時30分
脳神経外科	火・木	受付 8時30分～11時30分
皮膚科	木	受付 13時00分～14時00分

土曜日は、第1・3・5のみ診療を行っております。

土曜日の診療は、当番医となります。

※平成30年12月1日から診療科を変更いたしました。

休 診 日 第2・4土曜日

日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所 在 地 〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋1-1-1

電 話 TEL 052-711-6131 FAX 052-712-0052

アドレス <http://www.toukaihosp.jp/>

交 通 地下鉄・名城線茶屋ヶ坂駅②番出口より約7分

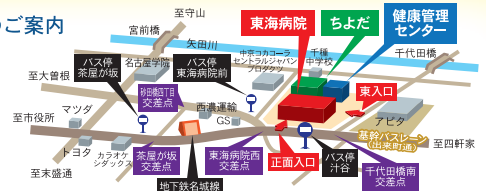
バ ス・基幹バス汁谷下車約1分

名鉄瀬戸線・大曽根駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車

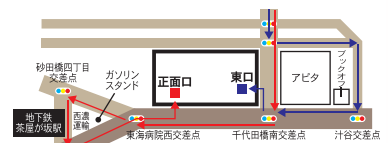
ゆとりーとライン・砂田橋駅下車 地下鉄名城線乗換 茶屋ヶ坂駅下車

※一部送迎バスあり

### 周辺のご案内



### 駐車場入口のご案内



※守山方面・千代田橋経由から車でお越しの際  
■千代田橋を渡り2つ目の信号を左折、青線のように迂回して東口よりお入りください。  
■千代田橋南交差点を右折する場合はお手数ですが赤線のように迂回して正面口よりお入りください。

### 公共交通機関のご案内

